

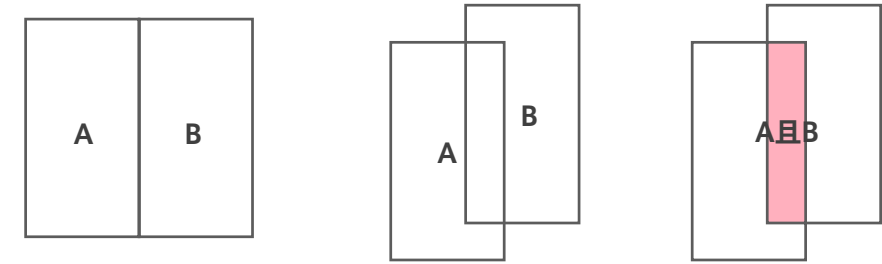
開かれた場として



**敷地**

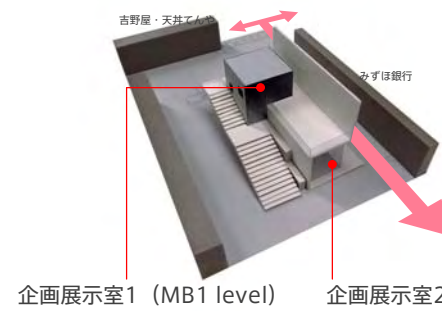
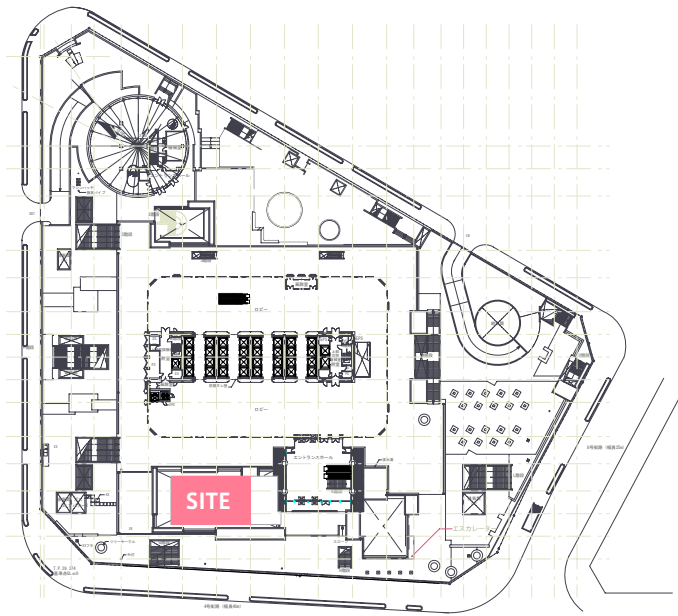
敷地南側に吹抜けに面する地下空間を敷地に設定した。  
 商業・飲食を中心とした賑わいの中心であり、新宿センタービルのメインアプローチのレベルがB1Fであることからポテンシャルの高い敷地であることが分かる。

**diagrams**



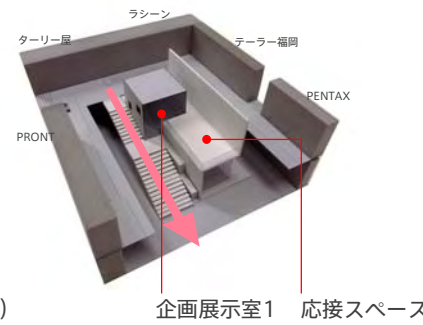
**多義的領域—開かれたギャラリーの在り方—**

開かれている状態とは、多義的な領域で各々の要素が補完しあっている状態であると思う。  
 一般動線である「屋外階段」という要素と、「ギャラリー」という要素を立体的に組み合わせることで、相互が補完し合う「開かれたギャラリー」を実現できると考えた。



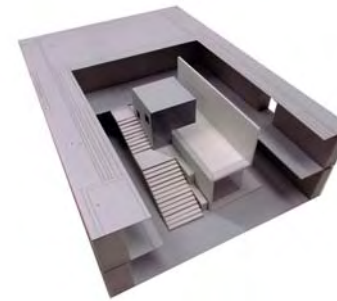
**① B 1 Fの関係性**

- ・にぎわい施設で賑わう、MB1レベル、B1Fレベルに面して、展示室を設定。
- ・ギャラリータイセイの収蔵品など、セキュリティが問われる展示物を企画展示室1・2で扱う。
- ・その他のオープンスペースは、ポスター、ちらし、フライヤーといったセキュリティを問わないものを扱う展示スペースとした。

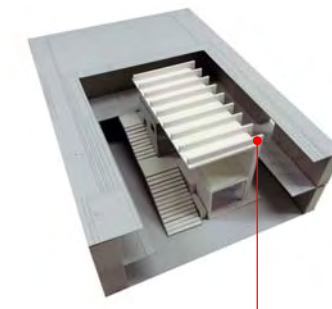


**② MB 1 (B1FL+4250) の関係性**

- ・日常動線である階段と立体的に接する展示室を設けることで、開かれた展示空間となることを目指した。

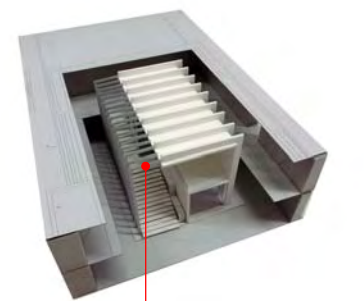


**③ 1 F**



**④ 屋根**

- ・アウトフレーム架構とし無柱空間とする。

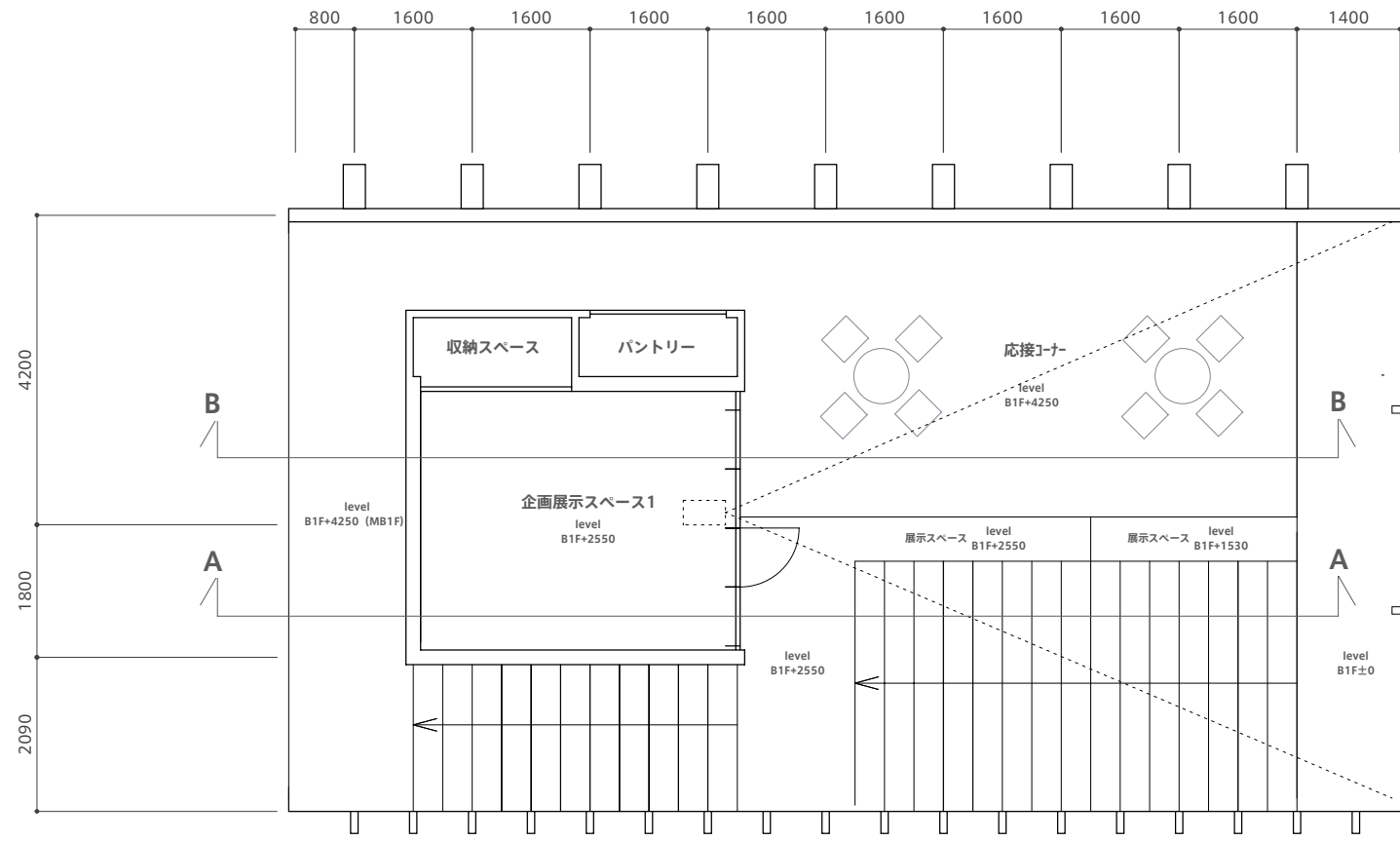


**⑤ フィン**

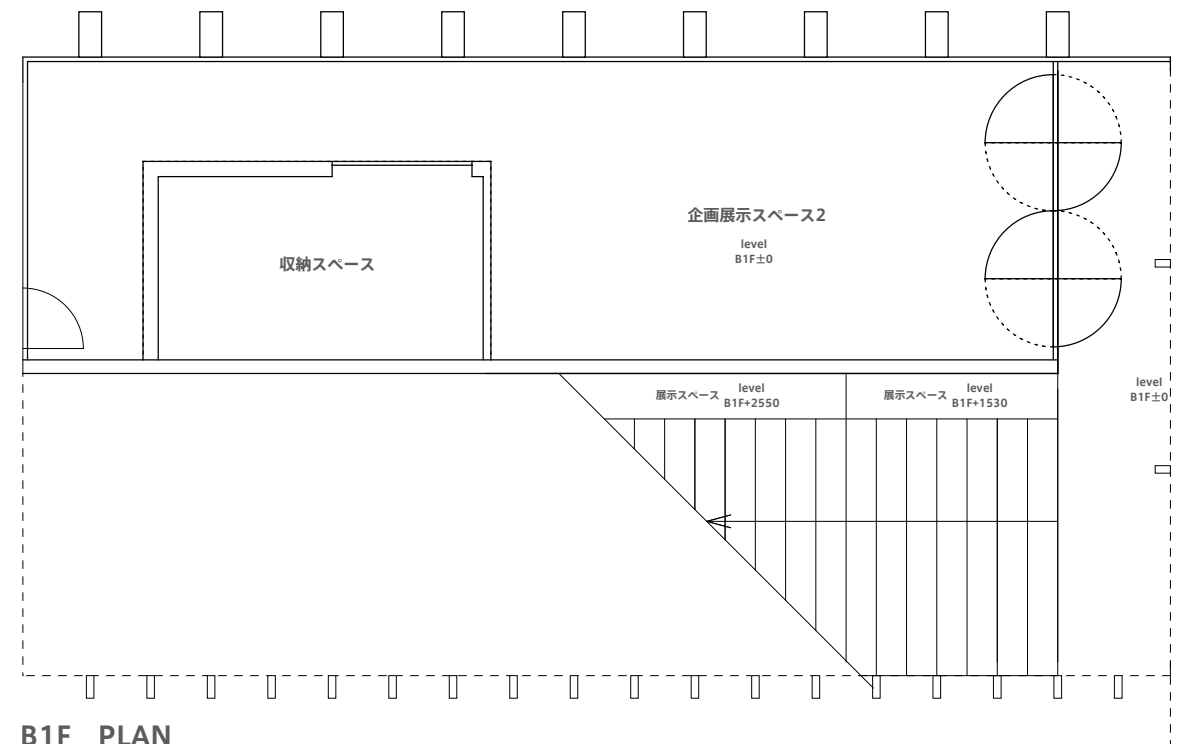
- ・フィンを階段脇に設けることで、建物の輪郭線を強調。

敷地図 1/2000

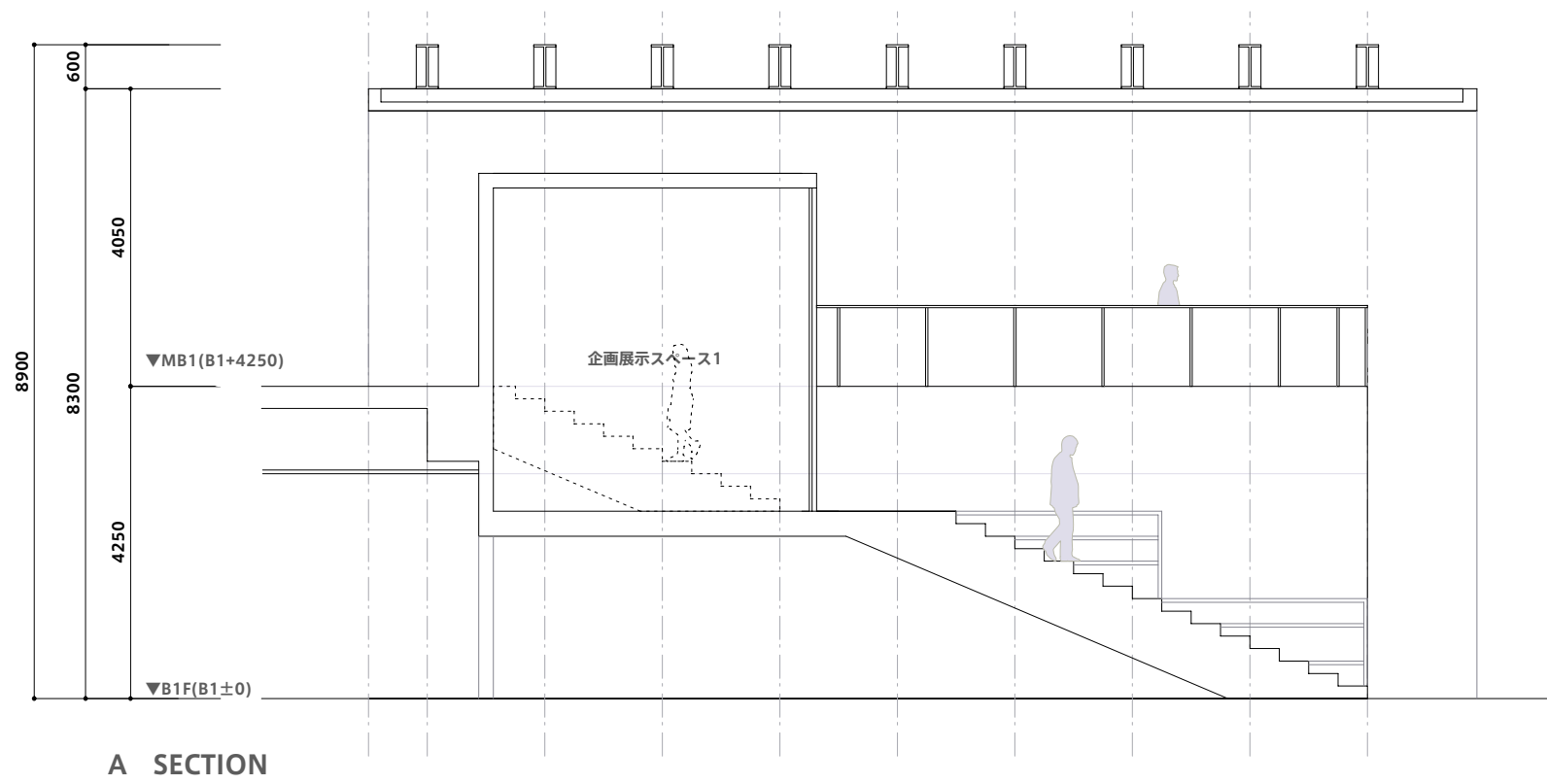




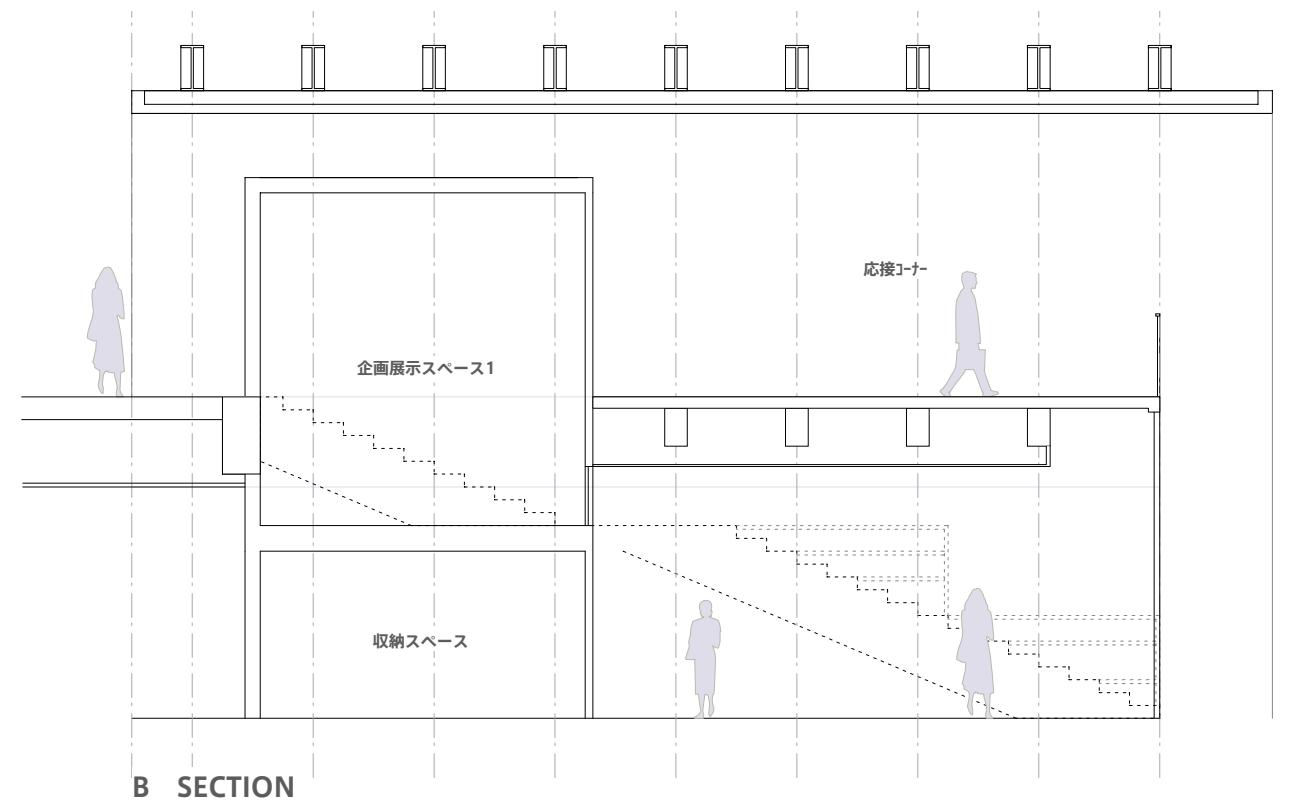
MB1 PLAN



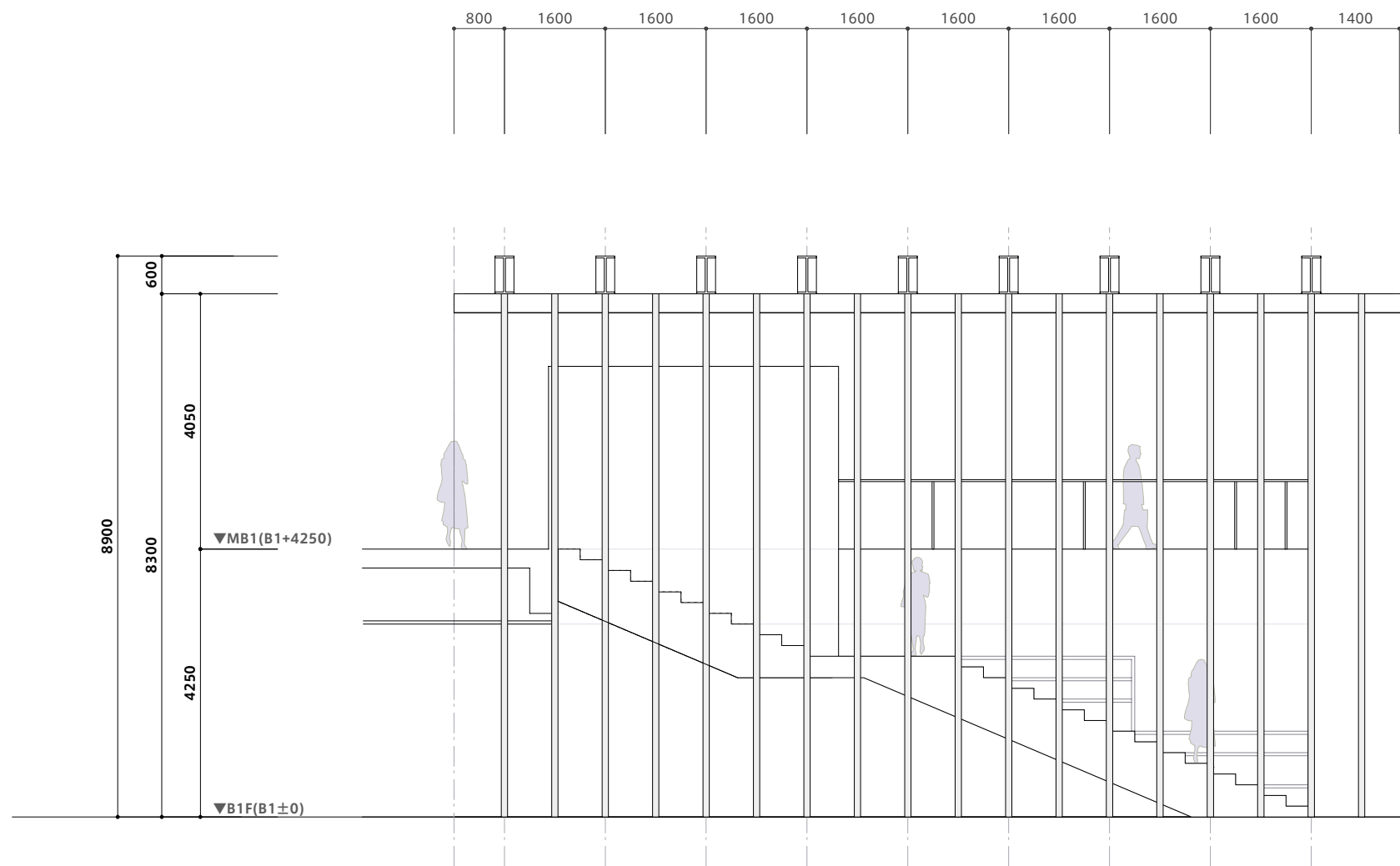
B1F PLAN



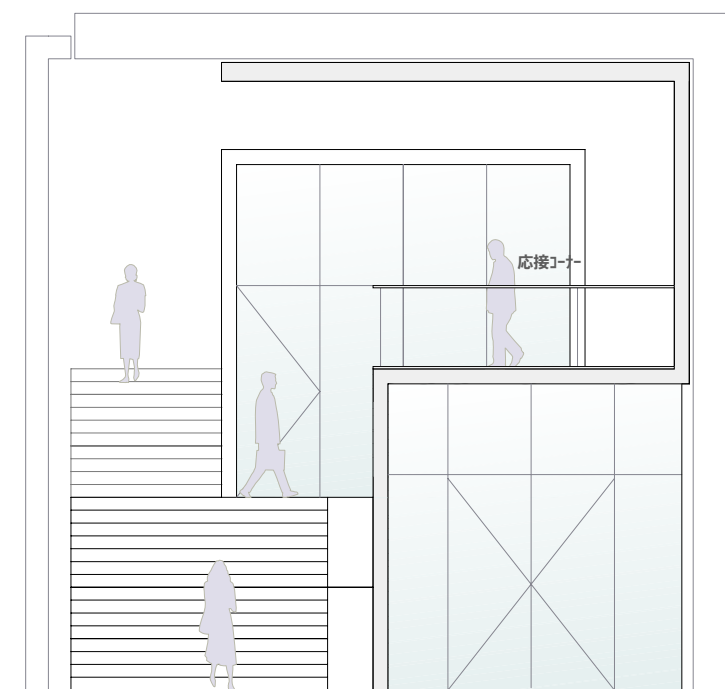
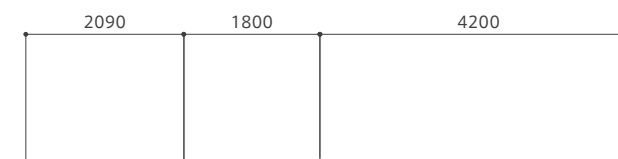
A SECTION



B SECTION



SOUTH ELEVATION



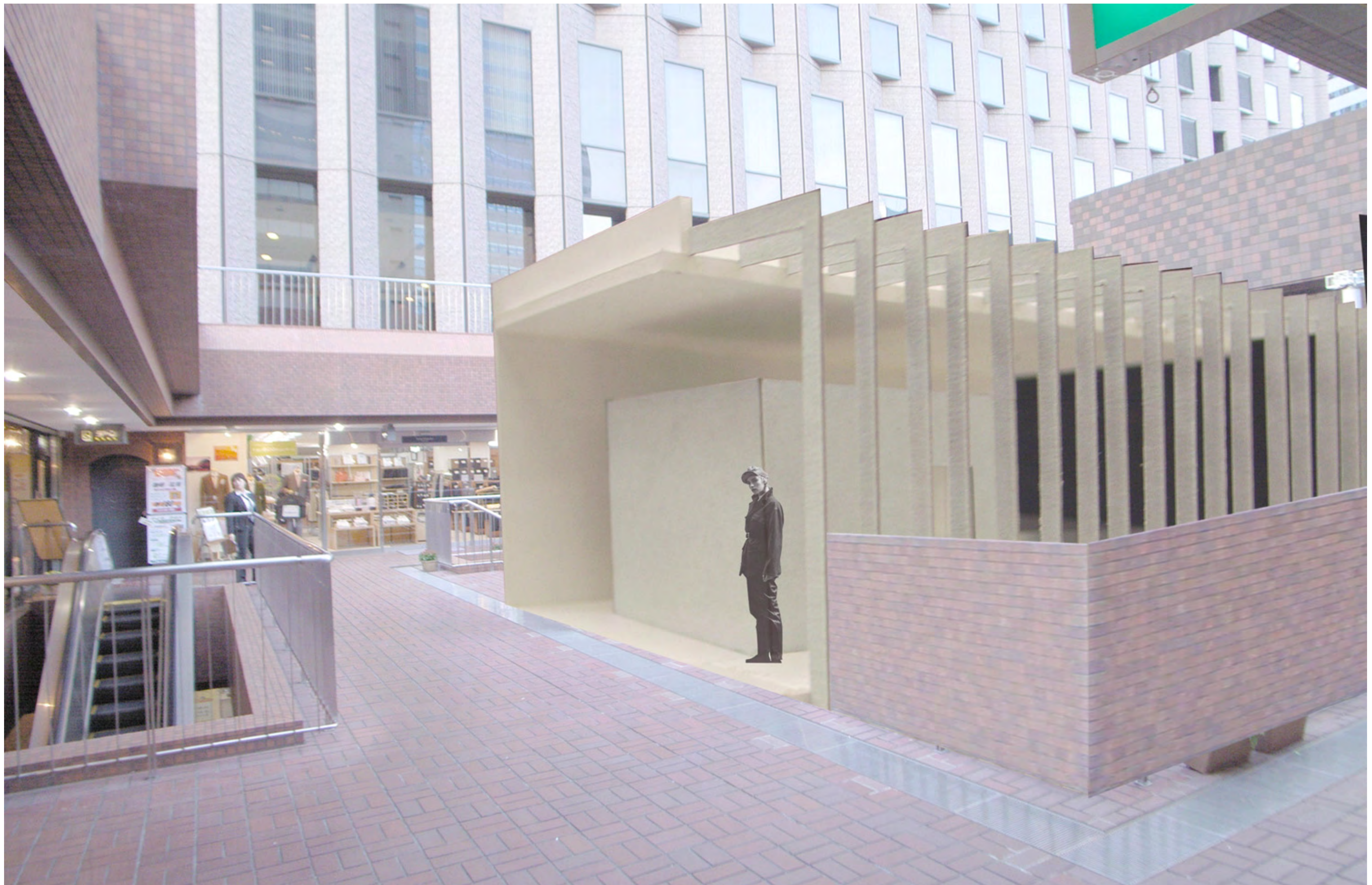
EAST ELEVATION



メインエントランスより



B1Fより



MB1より



1Fより